

こんにちは 野々市市議会です



「和傘～いしかわ百万石文化祭2023～」
【石川県立明和特別支援学校 高等部】

12月定例会議案審議・議決結果一覧2P
各委員会の主な質問と答弁3P
12月定例会一般質問 10人4P
視察報告14P
3月定例会日程16P

令和6年度一般会計補正予算

予算額は6億4,640万4千円の増

民生費関係扶助費2億9,950万円追加

子宮頸がんワクチン接種事業費3,300万円追加

令和6年第4回 12月定例会は、11月27日から12月16日まで開かれました。12月定例会では、市長提出議案20件、議員提出議案1件を可決、承認し、請願1件を不採択としました。

主な議案として、「民生費関係扶助費（障害者自立支援給付事業、障害児通所支援給付、生活保護扶助費、子育て支援医療費助成事業など）」の増加に伴う追加、積極的勧奨を差し控えている間に接種を受けることができなかった平成9年4月2日から平成20年4月1日生まれの女子を対象にした「子宮頸がんワクチン接種事業費」の追加、「野々市市文化会館の改修に係る関連工事費」の追加（963万円）など6億2,526万5千円を計上した令和6年度一般会計補正予算案を可決しました。また、令和6年10月27日執行の「衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査に係る経費」2,113万9千円を10月9日付けで専決処分した令和6年度一般会計補正予算案を承認しました。（補正後の一般会計予算額 245億3,352万4千円）



議決結果一覧

○=賛成、×=反対
※所属会派は議決時点での会派を記載しています。
※会派等の名称：あおば（あおばの会）、共（日本共産党）、令（令和清栄）、無（無名）、み（みのりの会）、公（公明）、議（議長）、副（副議長）

番号	件名	議決日	議決結果	野々市フォーラム		あおば		共		令		無		み		公		議	
				三納	田中	畠中	小堀	向田	中村	西村	岩見	西本	朝倉	梅野	智恵子	木谷	直子	大助	安原
議案第63号	専決処分（令和6年度野々市市一般会計補正予算第4号）の承認について	12月16日	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第64号	令和6年度野々市市一般会計補正予算（第5号）について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号	令和6年度野々市市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第66号	令和6年度野々市市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第67号	令和6年度野々市市介護保険特別会計補正予算（第1号）について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第68号	令和6年度野々市市水道事業会計補正予算（第1号）について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第69号	野々市市公告式条例の一部を改正する条例について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第70号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第71号	野々市市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第72号	一般職の職員の給与に関する条例及び野々市市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第73号	野々市市手数料条例の一部を改正する条例について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第74号	野々市市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第75号	「工事請負契約の締結について」の議決の一部変更について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第76号	「工事請負契約の締結について」の議決の一部変更について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第77号	財産の取得について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第78号	市道路線の認定について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第79号	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第80号	野々市市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第81号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第82号	野々市市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第3号	学校給食費の無償化を求める請願書	12月16日	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
議会議案第6号	ひきこもり支援に関する法整備を求める意見書	12月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

*議長は採決に加わりません。

各委員会の主な質問と答弁

予算決算・総務産業・教育福祉常任委員会

12月9・10・13の3日間

- A** 公費による子宮頸がんワクチン接種委託料として2,050万円が追加されているが、その理由は。
- Q** 子宮頸がんワクチン接種委託料として3,300万円が追加されているが、接種件数の当初見込みと実績見込みは。
- A** 公費による子宮頸がんワクチン接種は令和7年3月31日で終了予定。子宮頸がんワクチンは1人3回の接種が必要で、3回の接種には約6か月の期間が必要となることから、令和6年9月までに1回目の接種を終わらせるよう周知に取り組んだ。その後、当初見込み750回に対し、令和6年9月までに1回目の接種を終わらせるよう周知に取り組んだ。その後、当初見込み750回に対し、令和6年9月までに1回目の接種を終わらせるよう周知に取り組んだ。その後、

- Q** 道路の消融雪設備整備費として500万円が追加されているが、整備延長は。
- A** 妊治療助成は、先進不妊治療にかかる費用の1回当たりの助成額を、これまでの実績から当初6万2,500円で見込んでいたところ、令和6年度の実績が9万円となつたことから、不足分を追加したもの。
- Q** 野々市工大前駅通り線の消融雪設備の水源は。
- A** 令和4年度に高橋町5号線（市道）で消融雪用の井戸の掘削を行っており、その井戸水を水源としている。
- Q** 東京国際ツバキ大会ブレコン・ガレスツティーで「ののいち椿館・椿山」を訪れる海外の人々を受け入れるために、「ののいち椿館・椿山」を紹介するパンフレットの英語版を増刷することとしているが、英語以外の外國語対応の予定は。
- A** 令和元年度に作成した英語版パンフレットの在庫が不足していることから、プレコレクション版



椿山（野々市中央公園内）

- Q** 子宮頸がんワクチン接種委託料として3,300万円が追加されているが、接種件数の当初見込みと実績見込みは。
- A** 初の想定より増えたことに伴い経費が増えたもの。寄附金額が増えた要因としては、能登産の素材を活用した返礼品が人気であることから、能登の復興支援によるものと考えている。
- Q** プレ妊娠健診委託料として69万2千円、不妊治療費助成に係る事業費として88万円が追加されたもの。
- A** プレ妊娠健診は、受診組数の増加に伴うもので、当初見込み40組に対し、令和6年9月末の実績が33組となり、実績見込みを66組として不足分26組の委託料を追加したもの。
- Q** 野々市工大前駅通り線の消融雪設備の整備を終えた野々市工大前駅通り線（新設）、本町2丁目住吉線（更メートル）、本町2丁目住吉線が65メートルである。
- A** 令和6年度に消融雪設備の整備を終えた野々市工大前駅通り線（新設）、本町2丁目住吉線（更メートル）、本町2丁目住吉線が65メートルである。

- アの実施にあわせて、掲載写真の差し替えや時点修正を行った上で増刷する。現時点では英語対応のみで考えている。

- Q** ふるさと納稅業務委託料として2,050万円が追加されているが、その理由は。
- A** ふるさと納稅の寄附金額が当てるが、その理由は。
- Q** 子宮頸がんワクチン接種委託料として3,300万円が追加されているが、接種件数の当初見込みと実績見込みは。
- A** 公費による子宮頸がんワクチン接種は令和7年3月31日で終了予定。子宮頸がんワクチンは1人3回の接種が必要で、3回の接種には約6か月の期間が必要となることから、令和6年9月までに1回目の接種を終わらせるよう周知に取り組んだ。その後、

- Q** ふるさと納稅業務委託料として2,050万円が追加されているが、その理由は。
- A** ふるさと納稅の寄附金額が当てるが、その理由は。
- Q** 子宮頸がんワクチン接種委託料として3,300万円が追加されているが、接種件数の当初見込みと実績見込みは。
- A** 公費による子宮頸がんワクチン接種は令和7年3月31日で終了予定。子宮頸がんワクチンは1人3回の接種が必要で、3回の接種には約6か月の期間が必要となることから、令和6年9月までに1回目の接種を終わらせるよう周知に取り組んだ。その後、

- Q** ふるさと納稅業務委託料として2,050万円が追加されているが、その理由は。
- A** ふるさと納稅の寄附金額が当てるが、その理由は。
- Q** 子宮頸がんワクチン接種委託料として3,300万円が追加されているが、接種件数の当初見込みと実績見込みは。
- A** 公費による子宮頸がんワクチン接種は令和7年3月31日で終了予定。子宮頸がんワクチンは1人3回の接種が必要で、3回の接種には約6か月の期間が必要となることから、令和6年9月までに1回目の接種を終わらせるよう周知に取り組んだ。その後、

- Q** ふるさと納稅業務委託料として2,050万円が追加されているが、その理由は。
- A** ふるさと納稅の寄附金額が当てるが、その理由は。
- Q** 子宮頸がんワクチン接種委託料として3,300万円が追加されているが、接種件数の当初見込みと実績見込みは。
- A** 公費による子宮頸がんワクチン接種は令和7年3月31日で終了予定。子宮頸がんワクチンは1人3回の接種が必要で、3回の接種には約6か月の期間が必要となることから、令和6年9月までに1回目の接種を終わらせるよう周知に取り組んだ。その後、

- Q** ふるさと納稅業務委託料として2,050万円が追加されているが、その理由は。
- A** ふるさと



安原 透 議員

財政健全化期間の補助金や助成金の減額による地域コミュニティに与える影響について

今後とも必要な支援については
しっかりと努めたい

A 市長 ● 第二次総合計画では、各施策において成果指標を設定、第2期のいち創生総合戦略においても各施策において重要業績評価指標を設定している。毎年各施策や事業に関する行政評価を行い、進捗状況を評価し、PDCAサイクルで実施していく。

Q 財政健全化の観点から民間企業では重要な業績評価指標が活用されている。各事業の優先順位や取捨選択をしていく為の更なる仕組みづくりについて伺う。

A 市長 ● 老朽化が進む公共施設の長寿命化やインフラ資産の維持更新、中央公園拡張整備事業という大型プロジェクトの推進、新たな行政需要に対する対応等、本市の財政状況は今後も厳しい状況が続く。限られた予算の中で健全な財政状況を維持し、将来の世代に負担を残さない財政運営に努めたい。

Q 財政健全化期間の補助金や助成金の減額による地域コミュニティに与える影響は

A 市長 ● 老朽化が進む公共施設の長寿命化やインフラ資産の維持更新、中央公園拡張整備事業という大型プロジェクトの推進、新たな行政需要に対する対応等、本市の財政状況は今後も厳しい状況が続く。限られた予算の中で健全な財政状況を維持し、将来の世代に負担を残さない財政運営に努めたい。

Q 財政健全化期間の補助金や助成金の減額による地域コミュニティに与える影響は

A 市長 ● 財政健全化の期間には御協力をいただいた。各団体や事業への補助金減額分は補完していないが、これまで以上に様々相談やコミュニケーションを図ることもできた。今後とも必要な支援についてしっかり努めたい。

国際優秀つばき園の活用施策

Q 秀つばき園 はその存在や魅力について市内外への周知、観光資源としての活用が課題である。今後、

A 市長 ● 車から人を中心の空間へと転換を図る「居心地が良くなったりくなるまちなか」に共鳴して賛同した。これまで遊歩道の整備や、ウォーキングに適したコースの設定などを実現してきた。今後ハ

Q 本州初の認定である「国際優秀つばき園」はその存在や魅力について市内外への周知、観光資源としての活用が課題である。今後、

A 市長 ● 来年3月には国際ツバキ大会のプレコングレスツアーの来訪地の一つとして本市の椿館、椿山が選定された。海外のツバキ愛好家などの来訪を見込んで、広く周知する絶好の機会となるので、公園の椿山山頂、標高柱設置や、来訪者へのARフォトフレーム等、準備を進めている。ツバー

Q 「まちなかウォーカブル推進事業」は車を中心歩行者中心の都市空間へと転換を図る絶好的な環境の向上が課題である。今後の予定や計画を伺う。

A 市長 ● 車から人を中心の空間へと転換を図る「居心地が良くなったりくなるまちなか」に共鳴して賛同した。これまで遊歩道の整備や、ウォーキングに適したコースの設定などを実現してきた。今後ハ

Q 一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PC からは、https://youtu.be/fKBLCX_2YRk



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PC からは、https://youtu.be/fKBLCX_2YRk

市財政の現状と課題・展望は

Q 財政健全化集中取組期間が終了し経常収支比率等は改善したが、社会保障費、財政負担の増加や経常的経費の増加等、財政は恒常に厳しい状況にある。財政基盤の安定と強化について伺う。

A 市長 ● 老朽化が進む公共施設の長寿命化やインフラ資産の維持更新、中央公園拡張整備事業という大型プロジェクトの推進、新たな行政需要に対する対応等、本市の財政状況は今後も厳しい状況が続く。限られた予算の中で健全な財政状況を維持し、将来の世代に負担を残さない財政運営に努めたい。

Q 財政健全化期間の補助金減額が地域コミュニティに与える影響は

A 市長 ● 財政健全化の期間には御協力をいただいた。各団体や事業への補助金減額分は補完していないが、これまで以上に様々相談やコミュニケーションを図ることもできた。今後とも必要な支援についてしっかり努めたい。

Q 一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PC からは、https://youtu.be/fKBLCX_2YRk

市財政の現状と課題・展望は

Q 財政健全化集中取組期間が終了し経常収支比率等は改善したが、社会保障費、財政負担の増加や経常的経費の増加等、財政は恒常に厳しい状況にある。財政基盤の安定と強化について伺う。

A 市長 ● 老朽化が進む公共施設の長寿命化やインフラ資産の維持更新、中央公園拡張整備事業という大型プロジェクトの推進、新たな行政需要に対する対応等、本市の財政状況は今後も厳しい状況が続く。限られた予算の中で健全な財政状況を維持し、将来の世代に負担を残さない財政運営に努めたい。

Q 財政健全化期間の補助金減額が地域コミュニティに与える影響は

A 市長 ● 財政健全化の期間には御協力をいただいた。各団体や事業への補助金減額分は補完していないが、これまで以上に様々相談やコミュニケーションを図ることもできた。今後とも必要な支援についてしっかり努めたい。

Q 一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PC からは、https://youtu.be/fKBLCX_2YRk

学校現場に電話の録音設備を導入せよ

西本 政之 議員
(令和清栄)

通話録音装置の設置も含めて、適切な方法を検討する

A 教育長 ● 学校の教職員は児童生徒の生活面や学習面、不登校等の多くの面で、日々、保護者と連絡を取り、家庭訪問をしている。その中で、長時間にわたる対応に苦慮する事例もあり、対応した教職員の業務の障壁となったり、精神的な負担となったりしている現状も一部で見受けられる。このような事例に対して、専門的な支援が必要な場合には、弁護士等にも相談して対応している。現在、苦情相談専門員を配置する予定はないが、現場の先生方が抱える課題に対して、より良い支援を行える体制づくりに努めていく。

Q 電話での相談や苦情でも、時に悪質な事例があるようだ。カスタマーハラスメントのような苦情などが、市役所窓口、一般企業、そして学校現場でも増加している。その対策として、すべての電話を録

れるがいかがか。

A 教育長 ● 学校の教職員は児童生徒の生活面や学習面、不登校等の多くの面で、日々、保護者と連絡を取り、家庭訪問をしている。その中で、長時間にわたる対応に苦慮する事例もあり、対応した教職員の業務の障壁となったり、精神的な負担となったりしている現状も一部で見受けられる。このような事例に対して、専門的な支援が必要な場合には、弁護士等にも相談して対応している。現在、苦情相談専門員を配置する予定はないが、現場の先生方が抱える課題に対して、より良い支援を行える体制づくりに努めていく。

Q 電話での相談や苦情でも、時に悪質な事例があるようだ。カスタマーハラスメントのような苦情などが、市役所窓口、一般企業、そして学校現場でも増加している。その対策として、すべての電話を録

れるがいかがか。

A 教育部長 ● 修繕が必要な箇所には、約3億円から4億円必要といわれているが、7校で順次更新してもかなり高額となる。長寿命化や複合化という考え方もあるが、取り敢えず現状で問題が大きい箇所は早急に修理すべきと考えるがいかがか。

Q 市内小中学校のプールの老朽化が著しい。学校プールの建設には、約3億円から4億円必要といわれているが、7校で順次更新してもかなり高額となる。長寿命化や複合化という考え方もあるが、取り敢えず現状で問題が大きい箇所は早急に修理すべきと考えるがいかがか。

A 教育部長 ● 修繕が必要な箇所があることは承知している。順次対応していく。今後も、適切に施設の維持管理を実施し、将来的な施設の老朽化による更新を見据え、費用対効果を含めて学校プールの在り方について研究していく。

Q 洗式の便器を備えた移動式トイレについて研究していく。

A 教育部長 ● 本州初の認定である「国際秀つばき園」はその存在や魅力について市内外への周知、観光資源としての活用が課題である。今後、

Q 游泳指導を外部委託に切り替える動きが全国的に広がっている。文部科学省も、学校プールの管理について、指定管理者制度や民間委託育活動に影響を及ぼすことがある。学校現場の業務改善が指摘される中、教職員の精神的負担を軽減するとともに、相手との通話内容をより確実に把握するために通話録音装置の設置も含めて、検討していく。

A 教育部長 ● 今後は、民間委託した他市町の様子を注視するとともに、地域人材の活用を進めながら、水泳指導とプール管理の在り方について研究していく。

Q これから、学校プール授業の外部委託を導入すべきと考えるがいかがか。

A 教育部長 ● 今後は、民間委託した他市町の様子を注視するとともに、地域人材の活用を進めながら、水泳指導とプール管理の在り方について研究していく。

Q 游泳指導を外部委託に切り替える動きが全国的に広がっている。文部科学省も、学校プールの管理について、指定管理者制度や民間委託育活動に影響を及ぼすことがある。学校現場の業務改善が指摘される中、教職員の精神的負担を軽減するとともに、相手との通話内容をより確実に把握するために通話録音装置の設置も含めて、検討していく。

A 教育部長 ● 今後は、民間委託した他市町の様子を注視するとともに、地域人材の活用を進めながら、水泳指導とプール管理の在り方について研究していく。

Q これから、学校プール授業の外部委託を導入すべきと考えるがいかがか。

A 教育部長 ● 今後は、民間委託した他市町の様子を注視するとともに、地域人材の活用を進めながら、水泳指導とプール管理の在り方について研究していく。

Q 游泳指導を外部委託に切り替える動きが全国的に広がっている。文部科学省も、学校プールの管理について、指定管理者制度や民間委託育活動に影響を及ぼすことがある。学校現場の業務改善が指摘される中、教職員の精神的負担を軽減するとともに、相手との通話内容をより確実に把握するために通話録音装置の設置も含めて、検討していく。

A 教育部長 ● 今後は、民間委託した他市町の様子を注視するとともに、地域人材の活用を進めながら、水泳指導とプール管理の在り方について研究していく。



畠中 勝己 議員
(野々市フォーラム)

学校グラウンド施設整備について スクールバス運行について

防球ネットの延長と嵩上げを計画 減便・廃止は考えず運行に努める

Q 小中学校7校の屋外グラウンドでは防球対策が講じられているが、時折、防球ネットや防球フェンスを越える事案が散見されるが、防球対策及び防砂対策に付いて市長の見解を伺う。

A 教育部長● 使用するボールが防球施設を超えることも散見され、更なる事故防止の観点から、防球施設の設置状況については、随时、調査を行つており、今年度は館野小学校の防球ネットの延長と着上げ工事を行う計画であります。防砂対策については、グラウンドの周囲に防風林としての植栽や、防砂ネットの設置などを行つているところであり、各小中学校やその他施設の状況を踏まえ、設置個所の追加や、さらに効果的な砂の飛散防止策について検討していく必要があるのではないか見解を伺う。

A 建設部長● 野々市中央公園駐車場について、西側の既存駐車場が閉鎖状態であるが、少しでも早く暫定駐車場として供給していく必要があるのでないか見解を伺う。

り、日頃より多くの皆様に御来園いただいております、また、市民体育館や市民野球場でも、スポーツの大会など様々な催しが開かれ、多くの方々にご利用いただいております。野々市中央公園拡張整備事業では、今年度事業用地の取得に着手しておりますが、公園区域内を走る郷用水の振替工事にも着手したことから、公園西側駐車場を閉鎖している状況です。様々な催しやイベントが重なった際には、駐車場が不足気味であると認識しております。駐車場の確保につきましては、令和7年度に暫定の駐車場整備を行つ予定としている。

既に家庭教育支援チームについては、各保育園、幼稚園において出向いてアワトリーチ型の相談活動を実施しており、現在24名で活動中である。そこで、将来的に減便または廃止を含め検討すべきと思われますが、見解を伺います。



田中 陽子 議員
(野々市フォーラム)

教育センターの大規模改修事業について

不登校児童生徒の増加傾向を考慮して 個室、相談室を増設する

Q 教育センターの大規模改修について
事業についてどの様な計画か。

A 市長 築30年以上経過し、老朽化しているため、外壁屋根の防水、バリアフリー化、多目的トイレの設置、空調設備の改修、LED化など予定している。また、本市においても不登校児童生徒が増加傾向にあり、多様化する児童生徒、その保護者の実情に合わせた事業運営を行うため、個室学習ブースや、相談室の増設、活動室やプレイルームの改修などを計画している。利用者の多様なニーズに合った教育環境や、学習環境を確保するための整備を行っていきたい。

Q 大規模改修工事が行われる期間中の利用者の対応は。

A 教育部長 内部の工事は夏季休暇期間に行い、安全管理の管理を徹底する。

Q 野々市ブランドについて
野々市ブランドに物品以外で本市独自の取り組みや、
「まちづくり」「事業」といつ

A 市長●本市での「コト」とは、古くから続く行事などが想定されるが、ブランド認定というよりも、市の価値や、魅力が高まるように「コト」を支援していきたい。

Q 野々市ブランドの代表ともいえるキウイフルーツ・キウイフルーツワインを今後どのようにサポートしていくのか。

A 市長●昭和53年から市内各地で積極的に栽培されてきたが、市街化区域の拡大による農地の減少、生産者の高齢化や後継者不足により、キウイフルーツの生産量も次第に減少している。今後においてもこれまで同様に生産団体の育成や、イベント出店の支援など特産品であり続けられるよう、必要なサポートを続けていきたい。

う。

日本語教室の拡充について

Q 本市に居住の外国人への日本語教室の現状について伺う。

A 地域政策部長●平成25年より本市国際友好親善協会の協力で開設され、現在毎週月曜日、



代表質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは <https://youtu.be/SXVXVTudaxg>

10分以上: <https://youtu.be/3XVXV1duaxg>

Digitized by srujanika@gmail.com

代表質問のページは、各会派の責任により編集されています。



一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、<https://youtu.be/QxW5rwkBKvE>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



中村 和流 議員
(あおばの会)

国の「重層的支援体制整備事業」を実施するか

令和7年度から実施し、健康福祉部に
「(仮称)地域共生推進室」を設置する

A 高齢者、障がい者、こども、
Q 生活困窮者といった従来の枠組みだけで対応できない問題に対応するため、令和5年に発足した市の「福祉連携調整室」の現状を伺う。

健康福祉部長 ●精神障害を抱えながら大量のごみがためこ

A **市長** ●令和7年度から国の補助金を活用した「重層的支援体制整備事業」を実施。事業を推進するため「(仮称) 地域共生推進室」を健康福祉部内に設置し、調整する職員を福祉総務課内に配置したい。

Q 「重層的支援体制整備事業」を具体的にどう進めるか。

A **市長** ●これまで支援が届きづらかった方の支援一ีズを把握する。新たに2つの新規事業を実施する「アウトリーチ等を通じた継続的支援事業」

2. 社会的に孤立している方が、社会と接点を持つことが出来る場を提供する「参加支援事業」に取り組む。

A
健康福祉部長●「野々市市障害者基幹相談支援センター」
は、障害者手帳や診断の有無に関わらず、障害に関する悩みや不安、困りごとを無料で相談でき、昨年度は337人の方から障害福祉サービスの利用や、健康・医療に関するこ

A screenshot of a Microsoft Edge browser window on a tablet. The address bar shows 'edge://newtab'. The main content area displays a search result for 'Windows 10' from Baidu, featuring a large image of a Windows 10 desktop and several links to download or learn more about the operating system.

登降園・保護者連絡などに公立保育園で導入されているICT機器

一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります
PCからは <https://youtu.be/z61iY-kPv3o>

まれた、いわゆる「ごみ屋敷」で生活する経済的困窮世帯や、要介護の高齢者と知的障害のお子さんが同居するいわゆる「8050」問題を抱えた世帯への支援など6件のケース15回の会議を開催し継続的な支援を実施。2年目の今年度は、各機関の相談支援担当者への説明会や対象者

<img alt="A photograph of a tablet device displaying a user interface for a childcare facility. The screen shows various icons for services like meals, naps, and diaper changes. The background is white with blue and grey accents. To the right of the image, vertical Japanese text reads 'た補助を検討する。' (Considering subsidies). Below the image, a large box contains the text '登降園・保護者連絡などに公立保育園で導入されているICT機器' (ICT equipment introduced at public nurseries for things like drop-off/pick-up and parent communication).</div>

など1916件の相談があり、自宅への訪問や同行、個別支援会議の開催などの支援にあたった。増員は市内4カ所の相談支援事業所とも協議し、適正な人員配置に努める。

Q 生活を地域全体で支える「地域生活支援拠点事業」の登録事業所の登録状況を伺う。

A 健康福祉部長 令和6年度に市内5つの障害福祉サービス事業所が登録。①相談②緊急時受け入れと対応③地域の体制づくり④体験の機会と場の提供に取り組んでいる。更に11の事業所に登録を希望している。

Q 放課後児童クラブの一CRT化の推進とその支援をどう行うか。

A 健康福祉部長 児童の入退室及び職員の出退勤時間を管理する一CRTシステム導入に向け

旧本町児童館を「新しい形の子どもの居場所」として活用を

自主防災組織の充実を図るために、現在の補助制度の対象を拡大することができないか検討していきたい

Q 「「いどもの居場所づくり」で子どもたちの意見が反映される組織体制と、独立した立場で子供の意見を代弁し、個別の事案の相談・救済する機関として、子どもたちの居場所」として活用する考えはないか。

A 市長 現在、利活用事業者の再公募に向けた準備を進めしており、まずは公募の結果を待ちたい。

Q 給食費が子育て世帯の重い負担に
学校給食無償化に踏み出す時
「うちは子どもが3人居ます、
これから小学校に上がるのですが

切実です」など、無償化を求める市民の声は大きくなっている。学校給食が教育の一環とされながら給食費が子育て世帯の重い負担となつてゐる現実と、無償化が社会の流れとなつてゐる中、無償化に向け一歩踏み出す時に來ているのではないか。

A 市長●「103万円の壁」の引き上げによる所得税・住民税の減収の影響や学校などの教育施設の大型事業も控えており、無償化については国や県からの補助制度が創設されないことにには、大きな財政負担になる。

This photograph captures a wide landscape under a dramatic, overcast sky. In the foreground, a gravel construction site features a white cylindrical pipe protruding from a concrete base. Beyond the site is a dry, brown field. A dense line of trees marks the horizon, leading to a range of mountains visible through the clouds. The sky is filled with heavy, dark clouds, suggesting an approaching storm.

 一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは <https://youtu.be/rBHow68deH8>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

視察報告

(○は委員長、○は副委員長)

総務産業常任委員会

ている。

日程：1月14日から16日まで
参加者：○小堀、○島中、二納、西村、
朝倉、中村義彦、若見
栃木県宇都宮市・宇都宮屋台横丁について

宇都宮屋台横丁の事業主体は民間企業であり、屋台全体がそれぞれ切磋琢磨し、特徴のある店になっている。屋台の入りやすさや雰囲気を存分に味わうことができ、人の流れを引き込むことができるよう各種イベントを企画し、特定非営利活動法人 宇都宮まちづくり推進機構、商工会議所と協働で、まちの活性化、賑わいのあるまちに繋げている。

埼玉県深谷市・深谷宿屋台村「ふつかちやん横丁」について

中心市街地、特に中山道沿道商店街の空洞化に歯止めを掛け、活性化の起爆剤となる賑わいの素を作り出すこと、また、新たに起業しようとする者の受け皿となることを目的に屋台村を開設。市所有地を利

用し、公衆トイレ等は市が負担したが、整備費用の3割強は国庫補助金を活用している。これまでに6名の店主が屋台村から市内へと出店し

教育福祉常任委員会

令和6年4月に施行された「認知症とともに生きるあたかいまちづくり条例」の制定のいきさつと現

いた町並みに観光客があふれる、重要文化財に指定された機運にのり、住民主体による町並み委員会が発足し、後の都市景観条例の制定につながった。現在も蔵建築物を中心とした町並みに観光客があふれる、伝統的建造物群保存地区になつて、また、伝統的建造物の修理等に際しては、補助率・上限額を設けて支援している。

埼玉県朝霞市・官民連携まちなか再生推進事業について

令和元年にウォーカブル推進都市となり、誰もが「居心地が良く、歩きたくなるまち」と、「人でぎわう魅力的な商業エリア」の創出を目指して、官民連携による公園や走路空間の活用を軸に、市民主体で工リアビジョンを描いている。駅前ロータリーを交通規制し、広場にすること、イベント場所の確保など、ウォーカブルを推進している。令和3年度から3年間は、国からの補助金を活用しており、市からの金銭的援助はなく、自立自走を前提に取り組んでいる。

東京都大田区・学びの多様化分教室「みらい学園中等部」について

この学園は、特別支援を目的とせず、多様な価値観を持つた児童生徒が、教職員と関わり合いながら、安心して将来を見つめながら学校生活を送っている。令和12年には、新校舎として96名の児童生徒を受け入れる予定と伺った。特別支援を目的しない学習、日常生活が送れる環境整備について非常に羨ましく感じた。

令和6年4月に施行された「認知症とともに生きるあたかいまちづくり条例」の制定のいきさつと現状を伺う。偏見のない正しい認知症の理解のための出前講座、中高生対象の認知症サポーター養成講座実施。民間の啓発展示、認知症カフェ（トコカフェ）開設で、その家族のサポートもしている。



みらい学園中等部での視察

視察報告 (○は委員長、○は副委員長)

議会運営委員会

日程：11月6日から8日まで

参加者：○中村義彦、○向田、西村、島中、小堀、北村

岩手県大船渡市・災害対応指針及び業務継続計画

東日本大震災の発災後、議員個人の判断による活動が目立ち、執行部に混乱を招き、統制がとれない事態が続いた。また、津波浸水地域と山間地域では、議員が行う活動に様々な相違があった経験などから、災害時の議会対応や議会機能の維持などを明確にするため、指針や計画が必要と判断。

そこで、特別委員会を設置し、3つの部会で検証を行い、市へ提言を行ふとともに、災害対応指針や業務継続計画を策定した。議会の情報は、議会災害対策会議で集約し、執行部に伝達する仕組みとした。

宮城県登米市・通年議会の導入経緯と運用及び意見交換会の取り組み

監視型議会から市民参加型・提案型議会への転換を目指して、様々な改革を継続的に取り組んでいる。通年議会の導入にあたり、市長の専決処分に関して、議会の議決に付

議会改革特別委員会

日程：11月13日から14日まで

参加者：○西本、○西村、田中、梅野、小堀、向田、安原

東京都東村山市議会・議会報告会をはじめとする議会改革の取り組み

議会報告会の開催までの経緯、概要、開催実績、内容等について情報収集を行った。

前半は報告、後半は意見交換会の構成で行うことにより対話を重視する、(2)議員が駅前でチラシ配布等を行い開催情報の発信を行う、(3)才

多くの市民参加を目的として、(1)決算審査と予算審査が連動する議会活動に改め、独自の政策サイクルを作成。また、常任委員会委員の任期を4年に改め、深く調査研究ができるようにした。

政策サイクルの起点は、「市民との意見交換会」。予算決算委員会の所管事務とし、地区別と分野別の意見交換会を開催し、市民の声を政策提言に生かしている。

現在は、議会評価導入に関する調査を実施しており、基本条例に基づく議会運営が実現しているか、議会が住民福祉の向上にどのような成果を残したかなど、政策サイクルをもとに評価制度を検討している。

東村山市議会での視察

議会改革特別委員会

日程：11月13日から14日まで

参加者：○西本、○西村、田中、梅野、小堀、向田、安原

東京都東村山市議会・議会報告会をはじめとする議会改革の取り組み

議会報告会の開催までの経緯、概要、開催実績、内容等について情報収集を行った。

前半は報告、後半は意見交換会の構成で行うことにより対話を重視する、(2)議員が駅前でチラシ配布等を行い開催情報の発信を行う、(3)才

多くの市民参加を目的として、(1)決算審査と予算審査が連動する議会活動に改め、独自の政策サイクルを作成。また、常任委員会委員の任期を4年に改め、深く調査研究ができるようにした。

政策サイクルの起点は、「市民との意見交換会」。予算決算委員会の所管事務とし、地区別と分野別の意見交換会を開催し、市民の声を政策提言に生かしている。

現在は、議会評価導入に関する調査を実施しており、基本条例に基づく議会運営が実現しているか、議会が住民福祉の向上にどのような成果を残したかなど、政策サイクルをもとに評価制度を検討している。

議会改革特別委員会

日程：11月13日から14日まで

参加者：○西本、○西村、田中、梅野、小堀、向田、安原

東京都福生市議会・マニフェスト大賞のエリア選抜に選出された取り組みをはじめとする議会改革の取り組み

議会報告会の開催までの経緯、概要、開催実績、内容等について情報収集を行った。

前半は報告、後半は意見交換会の構成で行うことにより対話を重視する、(2)議員が駅前でチラシ配布等を行い開催情報の発信を行う、(3)才

多くの市民参加を目的として、(1)決算審査と予算審査が連動する議会活動に改め、独自の政策サイクルを作成。また、常任委員会委員の任期を4年に改め、深く調査研究ができるようにした。

政策サイクルの起点は、「市民との意見交換会」。予算決算委員会の所管事務とし、地区別と分野別の意見交換会を開催し、市民の声を政策提言に生かしている。

現在は、議会評価導入に関する調査を実施しており、基本条例に基づく議会運営が実現しているか、議会が住民福祉の向上にどのような成果を残したかなど、政策サイクルをもとに評価制度を検討している。

議会改革特別委員会

日程：11月13日から14日まで

参加者：○西本、○西村、田中、梅野、小堀、向田、安原

東京都福生市議会・マニフェスト大賞のエリア選抜に選出された取り組みをはじめとする議会改革の取り組み

議会報告会の開催までの経緯、概要、開催実績、内容等について情報収集を行った。

前半は報告、後半は意見交換会の構成で行うことにより対話を重視する、(2)議員が駅前でチラシ配布等を行い開催情報の発信を行う、(3)才

多くの市民参加を目的として、(1)決算審査と予算審査が連動する議会活動に改め、独自の政策サイクルを作成。また、常任委員会委員の任期を4年に改め、深く調査研究ができるようにした。

政策サイクルの起点は、「市民との意見交換会」。予算決算委員会の所管事務とし、地区別と分野別の意見交換会を開催し、市民の声を政策提言に生かしている。

現在は、議会評価導入に関する調査を実施しており、基本条例に基づく議会運営が実現しているか、議会が住民福祉の向上にどのような成果を残したかなど、政策サイクルをもとに評価制度を検討している。

議会改革特別委員会

日程：11月13日から14日まで

参加者：○西本、○西村、田中、梅野、小堀、向田、安原

東京都福生市議会・マニフェスト大賞のエリア選抜に選出された取り組みをはじめとする議会改革の取り組み

議会報告会の開催までの経緯、概要、開催実績、内容等について情報収集を行った。

前半は報告、後半は意見交換会の構成で行うことにより対話を重視する、(2)議員が駅前でチラシ配布等を行い開催情報の発信を行う、(3)才

多くの市民参加を目的として、(1)決算審査と予算審査が連動する議会活動に改め、独自の政策サイクルを作成。また、常任委員会委員の任期を4年に改め、深く調査研究ができるようにした。

政策サイクルの起点は、「市民との意見交換会」。予算決算委員会の所管事務とし、地区別と分野別の意見交換会を開催し、市民の声を政策提言に生かしている。

現在は、議会評価導入に関する調査を実施しており、基本条例に基づく議会運営が実現しているか、議会が住民福祉の向上にどのような成果を残したかなど、政策サイクルをもとに評価制度を検討している。

議会改革特別委員会

日程：11月13日から14日まで

参加者：○西本、○西村、田中、梅野、小堀、向田、安原

東京都福生市議会・マニフェスト大賞のエリア選抜に選出された取り組みをはじめとする議会改革の取り組み

議会報告会の開催までの経緯、概要、開催実績、内容等について情報収集を行った。

前半は報告、後半は意見交換会の構成で行うことにより対話を重視する、(2)議員が駅前でチラシ配布等を行い開催情報の発信を行う、(3)才

多くの市民参加を目的として、(1)決算審査と予算審査が連動する議会活動に改め、独自の政策サイクルを作成。また、常任委員会委員の任期を4年に改め、深く調査研究ができるようにした。

政策サイクルの起点は、「市民との意見交換会」。予算決算委員会の所管事務とし、地区別と分野別の意見交換会を開催し、市民の声を政策提言に生かしている。

現在は、議会評価導入に関する調査を実施しており、基本条例に基づく議会運営が実現しているか、議会が住民福祉の向上にどのような成果を残したかなど、政策サイクルをもとに評価制度を検討している。

議会改革特別委員会

日程：11月13日から14日まで

参加者：○西本、○西村、田中、梅野、小堀、向田、安原

東京都福生市議会・マニフェスト大賞のエリア選抜に選出された取り組みをはじめとする議会改革の取り組み

議会報告会の開催までの経緯、概要、開催実績、内容等について情報収集を行った。

前半は報告、後半は意見交換会の構成で行うことにより対話を重視する、(2)議員が駅前でチラシ配布等を行い開催情報の発信を行う、(3)才

多くの市民参加を目的として、(1)決算審査と予算審査が連動する議会活動に改め、独自の政策サイクルを作成。また、常任委員会委員の任期を4年に改め、深く調査研究ができるようにした。

政策サイクルの起点は、「市民との意見交換会」。予算決算委員会の所管事務とし、地区別と分野別の意見交換会を開催し、市民の声を政策提言に生かしている。

現在は、議会評価導入に関する調査を実施しており、基本条例に基づく議会運営が実現しているか、議会が住民福祉の向上にどのような成果を残したかなど、政策サイクルをもとに評価制度を検討している。

議会改革特別委員会

日程：11月13日から14日まで

参加者：○西本、○西村、田中、梅野、小堀、向田、安原

東京都福生市議会・マニフェスト大賞のエリア選抜に選出された取り組みをはじめとする議会改革の取り組み

議会報告会の開催までの経緯、概要、開催実績、内容等について情報収集を行った。

前半は報告、後半は意見交換会の構成で行うことにより対話を重視する、(2)議員が駅前でチラシ配布等を行い開催情報の発信を行う、(3)才

多くの市民参加を目的として、(1)決算審査と予算審査が連動する議会活動に改め、独自の政策サイクルを作成。また、常任委員会委員の任期を4年に改め、深く調査研究ができるようにした。

政策サイクルの起点は、「市民との意見交換会」。予算決算委員会の所管事務とし、地区別と分野別の意見交換会を開催し、市民の声を政策提言に生かしている。

現在は、議会評価導入に関する調査を実施しており、基本条例に基づく議会運営が実現しているか、議会が住民福祉の向上にどのような成果を残したかなど、政策サイクルをもとに評価制度を検討している。

議会改革特別委員会

日程：11月13日から14日まで

参加者：○西本、○西村、田中、梅野、小堀、向田、安原

東京都福生市議会・マニフェスト大賞のエリア選抜に選出された取り組みを

野々市市議会は、令和6年9月に発生した能登豪雨の被災地に、令和6年12月に義援金20万円を送りました。

採択された意見書

ひきこもり支援に関する法 整備を求める意見書

内閣府の調査によると、ひきこもり状態にある人は、全国で15歳から64歳までの年齢層に約146万人おり、およそ50人に1人と推計されています。従来、若年層の問題とされてきたひきこもりは、平成30年の国の調査によると、40歳から64歳までの中高年層にも及ぶことが明らかとなつており、ひきこもりの長期間化・高年齢化は、80代の親とひきこもり等の50代の子が孤立・困窮する「8050問題」や、親が亡くなつた後の本人支援等の課題が大きな社会問題となつています。しかし、現在、ひきこもり支援に特化した法整備はされておりません。

よつて、国及び政府におかれ
ては、ひきこもりを社会全体で
取り組むべき課題と捉え、ひき
こもり支援に関する施策を推進
するための基本法の制定など、
ひきこもり支援に関する法整備
を早急に図るよう強く求めま
す。

複合的であることから、当事者ひとりひとりに寄り添つた、きめ細やかで切れ目のない支援が必要であり、地方自治体では重層的な福祉支援を実施しているものの、現状では、法のはざまで適切な支援を受けられない事例も少なくありません。こうして現状を踏まえ、適切な支援を行っていくためには、ひきこもり支援に関する法整備が必要で

3月定例会の予定 会期:2月25日(火)～3月19日(水) (23日間)

日	月	火	水	木	金	土
2/23	2/24	2/25 午前 10 時～ 本会議 開会  生中継	2/26	2/27	2/28	1
2	3	4	5 午前 10 時～ 本会議 一般質問  生中継	6 午前 10 時～ 本会議 一般質問  生中継	7 午前 9 時 30 分～ 予算決算常任委員会	8
9	10 午前 9 時 30 分～ 予算決算常任委員会	11 午前 9 時 30 分～ 予算決算常任委員会	12 午前 10 時～ 総務産業常任委員会 午後 2 時～ 教育福祉常任委員会	13 午前 10 時～ 議会改革特別委員会 午後 2 時～ スポーツ施設等特別委員会	14	15
16	17 午前 10 時～ 予算決算常任委員会	18	19 午後 2 時～ 本会議 閉会  生中継	20	21	22

本会議は誰でも予約なしで傍聴できます。お気軽に傍聴ください。
インターネットで本会議の様子を生中継しています。

